

安全のために集中できる体制・対策を

中6号お客さま・社員の命を守る運行体制の確立を求める緊急申し入れ 団体交渉

新潟地本は3月1日、ビームからの落雪によりガラ

スが破損、乗務員が負傷した上越線1725Mの事象に対し申し入れた中6号の団体交渉を行いました。

今回は結果として軽傷で済んだだけであり、お客さま・社員の命が失われた事象と認識をして議論を行う旨を労使で確認した中で交渉を行いました。

支社側は、山手線電架柱 術力という風土であり、電

倒壊を教訓に2年間教育 力現場は止める判断は難

なかつたことは課題であ

るとの考えを示しました。

複数の乗務員から危険

申告があったにも関わら

ず発生した事象であるこ

とから、申告以降の対応を

問いました。

支社側は当日前後の除

雪状況について、乗務員か

ら申告があり前頭添乗を

昼夕2回行い、落雪の危険

があるビームは16日に除

雪、17日にも計画していた

としました。



と答えました。

交渉団は、その様な施策

を進めてきたのは会社で

あり、社員の意識だけが40

年前のまま置き去りにな

っていないかと指摘、今回

の判断が間違っていたと

確認して良いかを問うと

支社側は「間違っていない

かつたが足りなかった」と

述べました。

交渉団は、社員が死んで

いても同じことが言える

のかと指摘し、何が足りな

いのかを質しました。

支社側は、判断基準に従

っていたという意味で間違

っていないかつたが、違

なっていないとしました。

結果となつてしまつたと

また45 km/h以下での運

転の根拠を問うと、線区の特

情として25 km/hではバテる

可能性があり、45 km/hであ

れば衝撃が和らぐと判断

したとし、車両の耐久性は

本社とJTRECで検討

中だと述べました。

保線では列車を止めて

集中除雪をするが、なぜ電

力はできないのかを質す

と支社側は、電力のビーム

除雪に合わせてMRを出

す仕組みを現在検討して

いるとしました。

交渉の最後に、このよう

な事象は二度と発生しな

いという認識で良いか問

うと支社側は、発生させな

いよう精一杯考えた対策

であると答えました。

交渉団は、現場感覚を持

つ指合員が除雪を優先す

る判断をした中で起きた

悔しい事象という受け止

めであり、指令も苦悩の中

で除雪しなければという

意識であつたことを認識

するよう訴えました。

さらにセンター試験等

イベントに対する体制を

取るための空振りではな

く、安全のために集中でき

る仕組みを考えるように

求め、労使で対策を実行し

更により良い対策のため

に決意をもつて声を発し

ていくと述べると支社側

も安全を第一に取り組ん

でいくと答えました。

8号線 駅業務委託に伴う弊害の解消を

新潟支社はこれまで多

くの駅で業務委託化を進

めてきました。

エルダー社員の雇用の

場の確保を目的のひとつ

に掲げているものの、本

体からの業務の切り売りに

よるお客さまの満足度向

上、地域社会との共生を

実現するために、現状課題

の克服と労働環境の整備

が不可欠であり、施策実

施による安全性の低下が

あつてはなりません。

業務委託化において整

備すべき課題を克服し、

お客さま・地域社会から

信頼される鉄道を実現す

るため、新潟地本は2月20

日、駅業務委託のさらなる

推進に対する申し入れとし

て申8号を提出しました。

◆申8号 申し入れ項目

1. 加茂駅・亀田駅が業務

委託化される理由を明ら

かにすること。また、異動

を尊重すること。

2. ポイント不転等、業務

委託駅の異常時早期復旧

のため管理駅の業務担当

を増員すること。

3. 駅社員が一人または無

人の際の異常時やトラブ

ル対応に対する考え方を

明らかにすること。

4. 業務委託駅におけるサ

ービス向上のため営業時

間の拡大を行うこと。

5. 営業開始時間まで準備

時間が足りない駅の改善

を図ること。

6. 加茂駅西口の自動券売

機締切・現金管理の今後

の取扱いについて明らか

にすること。

7. 加茂駅の未渡して提携

をしている企業との今後

の対応について明らかに

すること。

8. 加茂駅のデジタル無線

機およびアナログ無線機

を撤去しないこと。

9. 田上駅の締切時の改札

機売上データは今後どこ

が受け持つのか明らかに

すること。

10. 業務委託駅で列車を緊

急停止させる方法を明ら

かにすること。

11. 上沼垂信号場で行つて

いる亀田駅の起床確認の

今後の取扱いについて明

らかにすること。

12. これまで行つてきた地

元地域との連携は今後ど

のように行っていくのか

明らかにすること。

13. 巻駅に事業便授受箱の

ない理由を明らかにする

こと。

14. (株)ジェイアール新

潟ビジネスに更衣時間を

設定すること。

